

サポートセンター通信

発行：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp



市民活動フェスタ2012in松本が開催されました！

市民活動フェスタ2012in松本 ぼくらの学校 ~みんなの心をつなげて~

穏やかな秋晴れの下、市民活動フェスタ2012in松本「ぼくらの学校」が9月29日(土)に「あがたの森文化会館」で開催され、約400名の市民の皆さんに会場いただきました。

今年度は、「みんなの心をつなげて」をテーマに、松本市を中心に活動する市民活動団体31団体が参加して、団体の特長を活かした展示・ワークショップ・販売・喫茶を実施し、活動発表や情報提供、そして団体同士や来場者との交流が行われました。

神林太鼓連の大迫力の太鼓パフォーマンスで開校し、講堂内の展示ブースでは、限られた空間の中、各団体の工夫をこらした展示空間が作られ、来場者に活動内容を分かりやすく説明していました。

子ども向けのワークショップでは、もの作りに真剣に取り組む子どもの姿や楽しいそうな子どもの声が会場に広がっていました。家族連れでの来場者が多かったため、販売・喫茶で購入した昼食を休憩スペースで食べている家族も多く、全体的に穏やかで、ゆったりした雰囲気が会場全体につくられていました。

帰りの会では、皆さんの想いが込められた支援金25,168円を、東日本大震災による避難者のサポート活動を実施している「手をつなぐ3.11信州」へ寄付するセレモニーが行われ「みんなの心をつなげた」余韻を残しつつ、「ぼくらの学校」が閉校しました。(うち)



神林太鼓連による
オープニングセレモニー



様々な団体による展示



積み木広場



心を合わせておもちつき



みんなの心をつなげる
帰りの会

プラチナフォーラム ~プラチナ世代がいきいきできる社会~

日時：12月14日(金) 14:00~17:00
(受付 13:30~)

会場：市民活動サポートセンター

内容：

基調講演

演題：「震災における日本人の底力
~まず一步をふみだそう~」

講師：吉永鴻一氏

(お父さんお帰りにさいパーティー 推進センター長)

事例発表交流会

活動者の体験談から、活動の第一歩のきっかけを
つかみましょう！

対象：プラチナ世代の方、市民活動・地域活動団体の方

定員：50名(先着順)

参加費：300円(お茶菓子代)

主催：プラチナフォーラム実行委員会

締切り：12月10日(月)

申込み：市民活動サポートセンター



プラチナ世代支援セミナー あなたもサンタクロースになりませんか？

8月のプラチナ世代支援セミナーをきっかけに発足した「サンタ・プロジェクト・まつもと」。

「クリスマスを病院で過ごす子ども達のために絵本をプレゼントする」という活動内容の紹介とともに、実際の絵本に触れながら、絵本の世界の持つ魅力や、子どもたちに贈る絵本を選ぶ際のヒントとなるお話を聞く講座です。

日時：12月5日(水) 13:30~15:30

会場：市民活動サポートセンター

内容：「サンタ・プロジェクト・まつもと」の紹介
講師：谷口和恵氏(JPIC読書アドバイザー)
講演「絵本から広がる世界」

対象：プラチナ世代の方、一般市民の方、関心のある方などなたでも。

定員：30名(先着順)

参加費：無料

主催：市民活動サポートセンター
NPO法人ライフデザインセンター

申込み：市民活動サポートセンター



「地域に溶け込む音楽イベントとは？」



車座になって意見を交換し合う参加者のみなさん

松本では、草の根的に音楽活動を行う方が少なくありません。そんな彼らが街中に飛び出して音楽イベントを企画することは、街に賑わいをもたらす可能性があります。しかし、騒音や交通などの面で地域との摩擦が生じることもあります。今回、松本市民活動サポートセンターでは、「地域に溶け込む音楽イベントとは？」という問いかけをテーマに、街にとって異質な存在である音楽と、地域社会の関係を議論するトークイベントを行いました。

7月24日の第一回目では、学生、市職員、音楽

イベントや美術関係者まで20人以上の幅広い参加者が集いました。松本ミュージックフェスティバル藤岡前実行委員長の活動報告からは、中心となって動いていくメンバーの継続的活動をいかに成り立たせるか、それがイベントの安定した運営の鍵となることを学びました。後半では、「楽都松本なのに、路上ライブができないのはおかしい。」「音楽が嫌いな人の立場を考えることも大切。」「継続して関係すれば、地域の方にも参加者になってもらうことができる。」といった様々なご意見が集まりました。

10月2日の第二回目では、「そもそも一回限りのイベントよりも、継続して存在する場所があることのほうが大切ではないのか？」この街で芸術活動が受け入れられるためには、社会人になっても活動をしている人の存在とそのための環境が必要。」といった、問題の深部を見つめる鋭い意見が出されました。

音楽イベントというひとつのトピックを通じて、街にとって異質な他者が地域社会と関係を結ぶことの難しさの可能性について議論が繰り広げられました。その意見の交換の中から、ジャンルを超えて根が共通する問題が存在していると感じました。(にいみ)

しみんサロン「不登校～中間教室という居場所～」



参加者の方々から、様々な意見が出されました

「しみんサロン」は、同じ課題に取り組む市民活動団体、専門家、関係機関、行政が、ともに課題解決に向けて情報の共有と意見交換を行う場です。

9月26日には、松本市子育てコミュニティサイトプロジェクトとの共催で、「不登校」をテーマに開催されました。

今回の話題提供者は、教員退職後、中間教室で8年間指導員として、主に中学不登校の子どもたちと向き合ってきた滝澤和子先生でした。

「関わり方によっては、子どもが見捨てられると受け取ってしまう。大切なのは子どもがどう感じるかであり、丁寧な対応が求められる。」という言

当日の参加者が中心となって企画された「長野県不登校を考える県民の集い」のお知らせは4面イベント情報で！

葉が心に沁みました。そんな現場での対応が、子どもたちが自ら動きだす力を育てていくのでしょうか。

さらに参加者との意見交換の中で先生は、不登校支援において、教師と親と支援者が協力体制を築っていくことの重要性も訴えられていました。

不登校について取り上げるのは通算4回目。不登校支援に取り組む親の会、子育て支援団体や専門家、松本市こども育成課、教育委員会が共に意見交換を積み重ね、連携を模索しています。

現在松本市内では、小中学生の不登校の子どもを受け入れる中間教室には数に限りがあり、本人のエネルギーが回復せず中間教室に通うことさえできない子どもたちも少なくないとのこと。心療内科や相談室以外に、学校外で、本人はもちろん、親も相談できたり頼ったりできる居場所が必要とされていることが指摘されました。

次回のしみんサロンでは、そんな「居場所」について考えたいと思います。2月中旬に開催の予定です。(くろ)

Close Up!

まつもとバッハの会

TEL : 0263-88-7874 FAX : 0263-32-3036

聴く、観る、そして、“知る”音楽へ

まつもとバッハの会が主催する聴講会の講師は、松本市出身で現在は国立音楽大学名誉教授である磯山雅(いそやま ただし)氏。2002年に磯山氏がサイトウキネンフェスティバルの解説で松本市を訪れたことがきっかけで同会は発足した。発足年以降、目立った活動はなかったが、10年目の節目である今年、『バッハの仕事場をのぞく』と題し、来年の7月まで計6回、バッハという人物について様々な角度から講演を行う予定。

9月9日の初回は『自筆楽譜は何を語るのか』というテーマで、約60人が磯山講師の話に聞き入った(写真右上)。作曲家であると同時に演奏家でもあったバッハの楽譜を読み、彼の音楽性を探った。11月11日の二回目は『バッハの環境、バッハ家の伝統』。バッハが生きた時代背景を知ることによって、親しみと興味がより深まるのでは、と事務局の福澤さん。

今回取材した『まつもとバッハの会』は、「音楽の父」と称されるバッハについて、音楽のみならず彼の人間性やその生涯についてスポットをあて、その音楽を多角的に楽しんでもらおうというイベントを実施している。

「クラシックって難しそう…」と興味はあってもなかなか踏み込めない人にはぜひオススメ。

今後はプロの演奏家や音大の学生を集めて演奏会をやりたいと考えており、若い人の聴講を待っている。

秋も深まってきた今日この頃。音楽の父と共に過ごす芸術の秋はいかが。(とざわ)



まつもとバッハの会 今後の予定

第3回『音楽の趣味、生活の趣味』

日時：平成25年1月13日(日)午後2時～

場所：深志教育会館(松本深志高等学校同窓会)

松本市蟻ヶ崎3-3-1 TEL：0263-39-2081

参加費：2,000円/回

当日申込み可。詳しくは上記事務局連絡先(福澤)まで。



2つのセミナーを通じて学ぶ

NPOの広報活動のための発想の転換

活動が広まらない...広報面の悩みを抱える団体も多いのではないのでしょうか。10月はNPOの広報力を強化するための2つのセミナーが開催されました。

10月11日には、松本市市民活動サポートセンターにて、NPO運営基礎セミナーが開催されました(事業受託団体：くらりnet)。「メディア・コミュニケーション」をテーマに、(株)カントリーオフィス代表・高橋潤氏が講演。情報を誰かに伝えようとする前に、自分たち自身について整理することの必要性を示しました。

何のために、誰のために活動する団体なのか?自分たちの強み、弱みは何か?一つ一つ分析した上で、有効なメディアを選択し、情報を伝える語り口を考え直すことの大切さが伝わってきました。

続いて10月30日にまつもと情報創造館で行われた、NPOのためのFacebook講座では、講師の(株)ウェブエイトの代表・草間淳哉氏が「Facebookは実名登録が基本。ネット上だからといって特別なことはない。一般社会と同様、挨拶や発言内容に気を配ることが大切で、それ以上身構える必要はない。」と語りました。

匿名制が主流の時代とは変わり、インターネット上の社会は、実際の社会生活と切れ目なくつながったものになっています。インターネット上のコミュニケーションでは、普段の自分の在り方が、そのままプラス方向にもマイナス方向にも強調されてしまうものであるという認識が深まりました。

日々新しく登場する情報伝達メディアの存在に振り回されてしまいがちですが、ツールの具体的な使い方を学ぶ以前に、一度、自分たちの活動の立ち位置や、コミュニケーションのあり方を見つめ直すことが大切です。そんな発想の転換を学んだ、今回の二つの講座でした。(にいみ)



10月11日(木)

NPO運営基礎セミナーの様子

ワークショップ形式で、講師の問い掛けに答えながら、各団体が自己分析を行い、キャッチコピーを考案した。



10月30日(火)

Facebook講座の様子

それぞれの状況にあわせ、アカウントの作成、友達とのやりとりの方法といった初歩から、グループ機能の活用や、セキュリティ面などの中級的内容までご講演いただいた。

イベント情報をお寄せください。

センター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

2012 MHC 登山講習 新雪の燕岳と温泉

中学登山で馴染みの深い燕岳(標高 2763m)。晩秋の燕岳登山口から出発し、新雪頂く燕岳の登頂を目指します。下山後は中房温泉で登山の疲れを癒します。

日時：11月23日(金) 24日(土)

参加費：16,000円 講習料(小冊子付) 山岳保険、1泊2日昼食付、交通費別

締切り：11月21日(水)

共同装備：医薬品セット 他

個人装備：ピッケル、アイゼン、防寒手袋、帽子、ウインドヤッケ上下、セーター又はフリース、テルモス、ヘッドランプ他

食料：23日の昼食、行動食、果物類、嗜好品

申込み：NPO法人 松本ヒマラヤ友好会

TEL：0263-47-6197 FAX：0263-47-5685

E-mail：mhc@lily.ocn.ne.jp

HP：http://www1.ocn.ne.jp/~mhfc/



第2回依存症困りごと相談会

アルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症や、摂食障害、ACなどに悩んでいるご本人、ご家族、ご友人の方を対象に、相互援助(自助)グループのメンバーが(職業的専門家でない)同じ立場から相談をお受けする相談会です。

日時：11月25日(日) 13:00~17:00

会場：松本市なんなんひろば(南部公民館) 3F大会議室

参加費：無料

申込み：事前の申し込みは不要です。直接会場へお越しください。相談内容の秘密は守られます。

問合せ：信州アディクションセミナー

TEL：090-9666-2507

E-mail：shinshu.addiction.seminar@gmail.com



辰巳量平展：凡人でごめんなさい

芸術を中心とした市民交流事業を企画するユニット、サンカク社。

松本市在住の作家・辰巳量平が空きビルを会場として利用した現代美術展を開催します。

日時：12月1日(土)~12月16日(日)

月金 12:00~21:00

祝休日 10:00~21:00

展示に先駆けて、11月3日から喫茶・読書・交流の機能を備えた「(サンカク)ステーション」が展示場2Fにオープンしています。(平日 19:30~21:00 祝休日 10:00~21:00)会期中、毎週土曜日にトークイベントを行います。ぜひ、ご参加ください。

会場：ワールド不動産ビル3F(松本市中央 3-4-7)

入場料：200円(コメントシート提出で返金)

問合せ：サンカク社

TEL：090-4153-7282(石田)

E-mail：bonjindegomennasai@gmail.com

HP：http://www.facebook.com/bonjindegomennasai

第3回長野県不登校を考える県民のつどい

~子どもたちの幸せな未来をみんなで考えよう~

あがたの森文化会館を会場に、会の活動報告や、県下各地の不登校支援を知る交流タイム、テーマ別座談会、専門家を招いての個別相談会などが行われます。(詳細はHPをご確認ください。)

日時：12月8日(土) 10:00~16:00

会場：松本市あがたの森文化会館

参加費：無料

会場内に託児をご用意しています(無料)

主催：ながの不登校を考える県民の会

申込み：上伊那子どもサポートセンター

(ながの不登校を考える県民の会事務局)

TEL：0265-76-7627

FAX：0265-94-2064

E-mail：kodomosupportkamiina@sunny.ocn.ne.jp

HP：http://tudoi2010.blog134.fc2.com/

座談会(各テーマ定員あり)・個別相談会(ひとり30分まで)・託児は事前予約制です。ご予約は11月30日までをお願いします。

平成24年度新しい公共支援・推進事業 エキスパート講座みんなで考えるNPOの未来

長野県で活動実績があるNPOスタッフ(中核を担う理事や事務局長等)が集まる合宿形式のリーダー研修です。お互いの活動を理解し、新しい公共を推進するNPOのネットワークを築きましょう。

日時：平成25年1月19日(土)~20日(日)

9:30 松本駅集合

バスで会場へ向かいます。

会場：公立学校共済みやま荘

(松本市浅間温泉 3-28-6)

参加費：12,000円(一人)

・宿泊せずセミナーのみご参加の方は、5,000円

・参加費に交流会の会費が含まれています。

参加資格：NPOの理事または事務局の中核スタッフ(法人格不要)

定員：40名(1団体2名まで)

締切り：平成25年1月7日(月)

(先着順 お早めにお申込ください)

主催：長野県

申込み：長野県NPOセンター

TEL：026-269-0015

FAX：026-269-0016



編集後記

少しずつ冬の足音が近づいてくるこの時期。今年も、「寒くなりましたね」が合言葉の季節がやってきました。サポートセンターの窓から見える大名町通りの紅葉の街路樹に、11月ならではの松本の美しさを感じています。(かわかみ)